

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 足関節骨折術後の後療法の違いによる治療成績に関する後ろ向き研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外 科 職位・氏名 助教 石井克尚

【試料・情報の利用目的】

整形外科の術後治療に後療法があります。これは電気や器具を使用する物理療法や筋力トレーニングや可動域訓練などの運動器リハビリテーションがあります。術後リハビリテーションでは、理学療法士とともに歩行や関節の動かし方、筋力強化を訓練します。足関節骨折の術後は、歩行や足関節の動きの獲得を目指すために後療法が必要であり運動器リハビリテーションを行います。しかし、リハビリテーションの方法は現在定まったものはなく、体重を足にかける時期などは様々です。リハビリテーションの違いと治療成績の関係性を明らかにするための研究に取得した試料や情報を利用します。

2017年4月～2024年2月までの期間のカルテ記載されている治療方法や身体所見、症状、合併症などの情報、画像データ(X線,CT,MRIなど)、痛みや運動能力、臨床成績の評価を後ろ向きに収集します。2週以内での早期荷重群(体重を足にかける時期)と3週以降の荷重群とに分けて2群間の比較をします。

この研究で得られる成果は、足関節骨折の患者さんの治療成績向上につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年2月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

他機関への提供は行いません。

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2017年4月～2023年8月までに東邦大学医療センター大橋病院

整形外科において、足関節骨折の診断で骨折観血的手術加療を受けた方おおよそ60名

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院

研究代表者： 石井克尚 役職： 助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院
研究責任者；武者芳朗

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科学講座 助教 石井克尚

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年6月30日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。申し出は代諾者の方からも承っております。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科

職位・氏名 助教 石井克尚

電話 03-3468-1251 内線 7253